

「男女共同参画の視点に立った地域の課題解決」のためのプログラムデザイン

【事業名】 私が選ぶ子どもに読みたい本 ～ジェンダーめがねでのぞく第2弾～ 全2回講座

【趣旨】 絵本及び読み聞かせは、子どもにとって、自己肯定感を高める、想像力を育む、社会を知るなど、大きな価値がある。しかし、絵本も文化であるゆえに時代を反映し、言葉の表現、性別役割分担の描写、読み手のアンコンシャスバイアスの影響などから、男女共同参画社会において、考慮すべき事柄が存在している。その問題に気づき、ジェンダー視点を加えた絵本の選書を提案する。

課題 子どもに読み聞かせる絵本は、「ロングセラー」（長い間読み継がれている定番の絵本が良いといわれるが、時代を経て、読み手（大人）のアンコンシャスバイアスやジェンダーの刷り込みが子どものジェンダー観（女の子だから、男の子だから）に影響を与えている

目的

- ・絵本をジェンダー視点で読み、絵本の中のジェンダーに気づく。
- ・ロングセラー絵本の中からジェンダー視点を加えても子どもに是非とも読みたい絵本を見つけ、提案する。

対象 絵本に興味がある人
子どもに絵本を読む人

連携先 開催場所：あいホール利用室
連携先：浜松市立図書館 ジェンダー視点で絵本の話ができる講師

